



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年11月14日

上場会社名 株式会社エスエルディー 上場取引所 東
 コード番号 3223 URL http://www.sld-inc.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 伴 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) IR室室長 (氏名) 石渡 麻美 TEL 03-6277-5031
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,622	△7.7	△86	—	△75	—	△348	—
29年3月期第2四半期	2,839	11.3	△37	—	△30	—	△26	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△266.43	—
29年3月期第2四半期	△20.07	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	1,705	364	21.3	277.80
29年3月期	2,066	739	35.7	564.23

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 363百万円 29年3月期 737百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,169	△6.1	△6	—	△6	—	△281	—	△214.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 業績予想の修正については、本日（平成29年11月14日）公表いたしました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	1,307,280株	29年3月期	1,307,280株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	45株	29年3月期	45株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	1,307,235株	29年3月期2Q	1,303,273株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当第2四半期における決算説明会は開催いたしません。決算説明資料を当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善、各種政策の効果もあって景気は緩やかに回復している一方で、米国の政策動向に伴う影響や北朝鮮問題等の地政学的リスクの高まり等による海外経済の不確実性は拭えず、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の属する外食産業におきましては、人件費の上昇や食材価格の高騰、また同業他社との競争激化等を背景に、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において当社は、「To Entertain People～より多くの人々を楽しませるために～」という企業理念のもと、業績向上に向けた施策に取り組んでまいりました。

飲食サービスにおきましては、当第2四半期において既存店舗の業況改善を図ることを優先するものとし、新規出店は実施しておりません。具体的には、業態別ランドメニュー改正、個店ごとにおける期間限定メニューの販促企画の見直し、新業態店舗の認知度向上施策等を実施いたしました。しかしながら、既存店舗は依然として減収傾向にある中、第1四半期までの閉鎖店舗及び新規出店見送りに係る減収が加わり、引き続き厳しい状況が続きました。なお、当第2四半期における店舗数は、前年同期末比で3店舗純減の65店舗となりました。

コンテンツ企画サービスにおきましては、株式会社カプコンのキャラクターカフェ「カプコンカフェ」（埼玉県越谷市イオンレイクタウン）、株式会社ユーグレナの「euglena GARDEN（ユーグレナガーデン）」（沖縄県石垣市）、JA全農の「みのりカフェ」（福岡県福岡市、愛知県名古屋市の）及び「グリルみのる」（愛知県名古屋市）等の運営を第1四半期に引き続き受託いたしました。また、横浜赤レンガ倉庫での「RED BRICK RESORT 2017」への6年連続出店や、当社初の3拠点（埼玉県は11年目、大阪府は4年目、福岡県は初）開催となった自社主催野外音楽イベント「夏びらきMUSIC FESTIVAL2017」を実施いたしました。

また、経営体制の変更を予定している中、営業体制及び店舗運営の方針の見直し、全社的な業務フロー及びシステムインフラの最適化を順次進める一方で、上記飲食サービスにおける減収影響に加えて、一部の業績不振店舗につき固定資産の回収可能性を検討した結果、減損損失215百万円を特別損失に計上いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,622百万円（前年同期比7.7%減）、営業損失86百万円（前年同期は営業損失37百万円）、経常損失75百万円（前年同期は経常損失30百万円）、四半期純損失348百万円（前年同期は四半期純損失26百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して361百万円減少し、1,705百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して99百万円減少し、677百万円となりました。これは主に現金及び預金54百万円の減少、売掛金10百万円の減少等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して261百万円減少し、1,027百万円となりました。これは主に、固定資産の減損による有形固定資産215百万円の減少等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して13百万円増加し、1,340百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して42百万円減少し、698百万円となりました。これは主に、買掛金16百万円の減少、1年内償還予定の社債9百万円の減少等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比較して55百万円増加し、642百万円となりました。これは主に、長期借入金29百万円の減少、長期未払金81百万円の増加等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して374百万円減少し、364百万円となりました。これは、四半期純損失の計上348百万円及び剰余金の配当26百万円による利益剰余金374百万円の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して54百万円減少し、352百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果減少した資金は、41百万円（前年同期は57百万円の増加）となりました。これは主に、税引前四半期純損失291百万円、減損損失215百万円、減価償却費50百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果減少した資金は、56百万円（前年同期は128百万円の減少）となりました。これは主に、業態転換等における有形及び無形固定資産の取得による支出56百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果増加した資金は、43百万円（前年同期は89百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入れによる収入95百万円、長期借入金の返済による支出119百万円、セールアンド割賦バック取引による収入109百万円、配当金の支払額25百万円があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想については、飲食サービスにおける既存店の業況が厳しい状況にあるなかで、第1四半期までの閉鎖店舗及び新規出店見送りに係る減収の影響を受け、売上高が当初の予想を下回っております。また、当第2四半期累計期間において、一部の業績不振店舗につき固定資産の減損を行ったことから、平成29年5月15日に「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました内容から修正しております。詳細につきましては、本日（平成29年11月14日）別途開示しております「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	406,668	352,374
売掛金	193,852	183,232
原材料及び貯蔵品	32,720	34,946
未収還付法人税等	8,483	—
その他	135,526	107,194
貸倒引当金	—	△147
流動資産合計	777,251	677,601
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,064,203	895,251
減価償却累計額	△435,467	△461,009
建物（純額）	628,735	434,241
機械及び装置	9,000	9,000
減価償却累計額	△3,952	△4,674
機械及び装置（純額）	5,047	4,325
工具、器具及び備品	276,340	263,118
減価償却累計額	△214,878	△222,372
工具、器具及び備品（純額）	61,462	40,746
有形固定資産合計	695,245	479,313
無形固定資産	1,581	1,299
投資その他の資産		
敷金及び保証金	543,457	539,497
その他	48,208	7,210
投資その他の資産合計	591,666	546,708
固定資産合計	1,288,493	1,027,322
繰延資産	420	191
資産合計	2,066,165	1,705,114

（単位：千円）

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	124,632	108,498
1年内返済予定の長期借入金	229,497	234,547
1年内償還予定の社債	18,000	9,000
未払法人税等	—	15,550
資産除去債務	11,928	3,934
店舗閉鎖損失引当金	7,616	—
その他	348,817	326,738
流動負債合計	740,491	698,269
固定負債		
長期借入金	440,829	411,185
資産除去債務	145,720	142,540
その他	—	88,785
固定負債合計	586,549	642,510
負債合計	1,327,040	1,340,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	272,162	272,162
資本剰余金	256,162	256,162
利益剰余金	209,347	△165,081
自己株式	△91	△91
株主資本合計	737,579	363,151
新株予約権	1,545	1,182
純資産合計	739,124	364,334
負債純資産合計	2,066,165	1,705,114

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,839,596	2,622,304
売上原価	2,542,582	2,391,103
売上総利益	297,013	231,201
販売費及び一般管理費	334,221	317,340
営業損失(△)	△37,208	△86,139
営業外収益		
受取利息	5	4
受取保険金	294	14,215
協賛金収入	9,831	3,635
その他	3,684	8,574
営業外収益合計	13,816	26,429
営業外費用		
支払利息	3,728	3,774
支払補償費	—	10,344
リース解約損	2,505	—
その他	812	1,666
営業外費用合計	7,046	15,784
経常損失(△)	△30,438	△75,494
特別損失		
減損損失	—	215,546
特別損失合計	—	215,546
税引前四半期純損失(△)	△30,438	△291,040
法人税、住民税及び事業税	4,685	3,411
法人税等調整額	△8,964	53,831
法人税等合計	△4,278	57,242
四半期純損失(△)	△26,159	△348,283

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失（△）	△30,438	△291,040
減価償却費	63,736	50,136
減損損失	—	215,546
貸倒引当金の増減額（△は減少）	—	147
受取利息及び受取配当金	△5	△4
支払利息	3,728	3,774
受取保険金	△294	△14,215
支払補償費	—	10,344
売上債権の増減額（△は増加）	35,710	10,619
たな卸資産の増減額（△は増加）	986	△2,226
仕入債務の増減額（△は減少）	△10,354	△16,134
未払費用の増減額（△は減少）	3,913	5,367
未払消費税等の増減額（△は減少）	16,178	△33,374
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	—	△7,616
その他	△8,778	△3,729
小計	74,382	△72,406
利息及び配当金の受取額	5	4
利息の支払額	△3,755	△3,690
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△13,293	16,907
補償金の支払額	—	△11,806
保険金の受取額	194	29,988
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,533	△41,002
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△128,154	△56,337
長期前払費用の取得による支出	△1,754	△1,553
資産除去債務の履行による支出	—	△11,685
敷金及び保証金の差入による支出	△4,498	—
敷金及び保証金の回収による収入	6,160	12,582
その他	—	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128,247	△56,983
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△16,668	—
長期借入れによる収入	250,000	95,000
長期借入金の返済による支出	△110,981	△119,594
社債の償還による支出	△9,000	△9,000
セールアンド割賦バック取引による収入	—	109,755
割賦債務の返済による支出	—	△6,952
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,817	—
配当金の支払額	△26,003	△25,516
財務活動によるキャッシュ・フロー	89,164	43,692
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	18,450	△54,294
現金及び現金同等物の期首残高	536,771	406,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	555,221	352,374

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。